

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

古くから自然と人が共存してきた阿蘇に根差すインフラを支える企業として、環境保護と、地域や観光客の安全・安心・快適さの創出を両立し続けられる経営を達成し、健全かつ堅固な経営が全社員およびすべてのステークホルダーの幸福につながる企業への成長を目指します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	地球温暖化原因ガス削減への取り組み促進	・保有トラックの尿素SCRシステム搭載車への切替率 2024年 30% →2026年 50%
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	防災、減災、レジリエンスへの取り組み促進	・定期訓練 2026年まで継続実施 ・BCP整備 必要に応じ毎年検討 ・従業員向け研修 2026年まで年1回実施
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	積極的雇用(ダイバーシティ経営)	・雇用創出 2026年までに5名採用

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

地域住民や観光客の安全も創出する仕事に対する責任を、社員、取引先や同業者とも共有する体制を整える。災害時の自社の役割を、全社員や同業者、観光業者、および行政と協力して明確にし、備えをより強固にする。現在、熊本県と南小国町と災害協定を締結。黒川温泉旅館組合とも協力体制を構築。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	地球温暖化原因ガス削減への取り組み促進	令和6(2024)年末までに保有トラックの5割を尿素SCRシステム搭載車に切り替える。
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	保有トラックの切り替えとしての予算計画が、3年で5割の目標では難しく、予算計画含め再考が必要となった。その為、当初計画に対しての達成率が低くなってしまった。	※2024年現在達成率30%
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	防災、減災、レジリエンスへの取り組み促進	令和6(2024)年末までに、既存の災害時行動マニュアルをBCPとして整備、研修も実施。
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	BCPとして整備しファイリングし、従業員と共有を図った。また、管理職においてはBCPの更新を毎年行う事で、防災、減災意識を浸透する事ができた。全従業員では定期訓練の年1回実施する。	①BCP勉強会を幹部で年1回実施した。(2024年5月10日) ②訓練定期実施→年1回で実施中。(2024年6月5日)
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	積極的雇用(ダイバーシティ経営)	令和6(2024)年末までに、新卒、中途を問わず最低3名を雇用。
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	積極的雇用に関しては当初目標3名に対し11名採用と実績を積むことができた。立地的問題で雇用は最大の課題であるが、職場の環境整備を整えることで問題解決の糸口を掴めたと捉えている。	令和6(2024)年末までに、新卒、中途を問わず最低3名を雇用。→2024年現在11名採用

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。
・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。
・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**